

〈隷書〉

詩有靜功
坐無俗客
聯句
話情深好

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課題は一人一点のみとする)

半折作品は各課題ごとに横／＼に一枚ずつたたんで提出ください。

〈楷書〉

詩有靜功
坐無俗客
聯句
話情深好

山本飛雲先生書

□ 詩に靜功有り聯句好し
坐に俗客無し話情深し (曹伯啓)

次号予告「鳥啼簷角飛無定 風剪林梢寒有聲」

〈行書〉

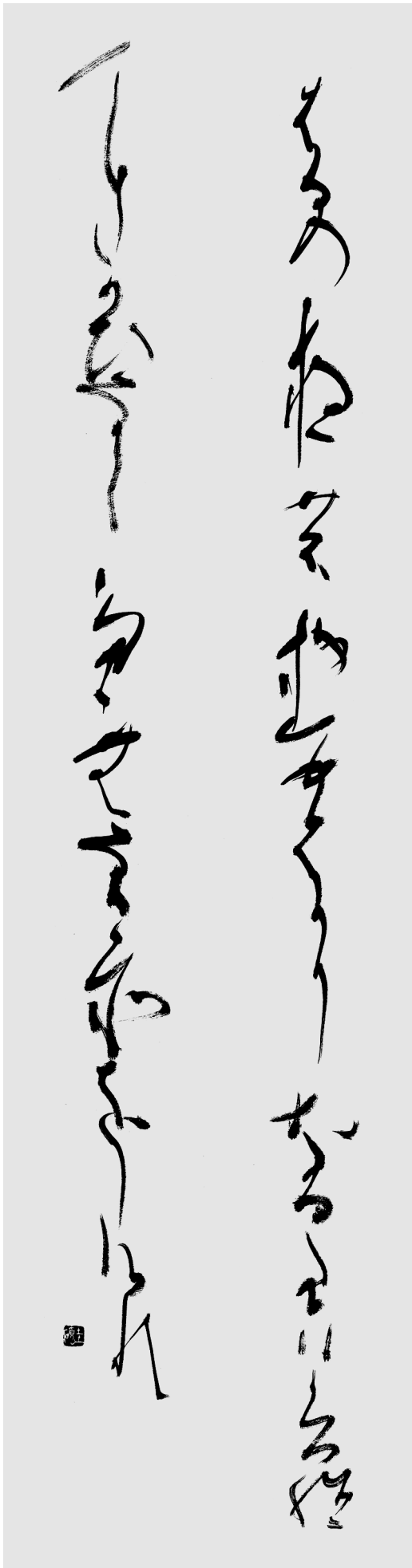
小畠秋聲先生書



▽詩に静かにして功を立てるといふことがあるが聯句が好い。座には俗人がいないので打ち解けた談話には深い情がある。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□ 者の夜の遊め者可なり 多万羅耳 可ひなく多、無 名こそをしけれ
春の夜の 遊めはかりなる 手枕に かひなくたゝむ

△百人一首六十七

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

清原大龍先生臨

龍貽則發跡素里馳
聲上國仲舒揚庭

▽ 温彦博碑

龍貽則發跡素里馳聲上國仲舒揚庭

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書

秋晴のふりて楽く
實りに入る栗も胡桃も

□ 斎藤茂吉のうた 秋晴の ひかりとなりて楽しくも 実りに入らむ 栗も胡桃も

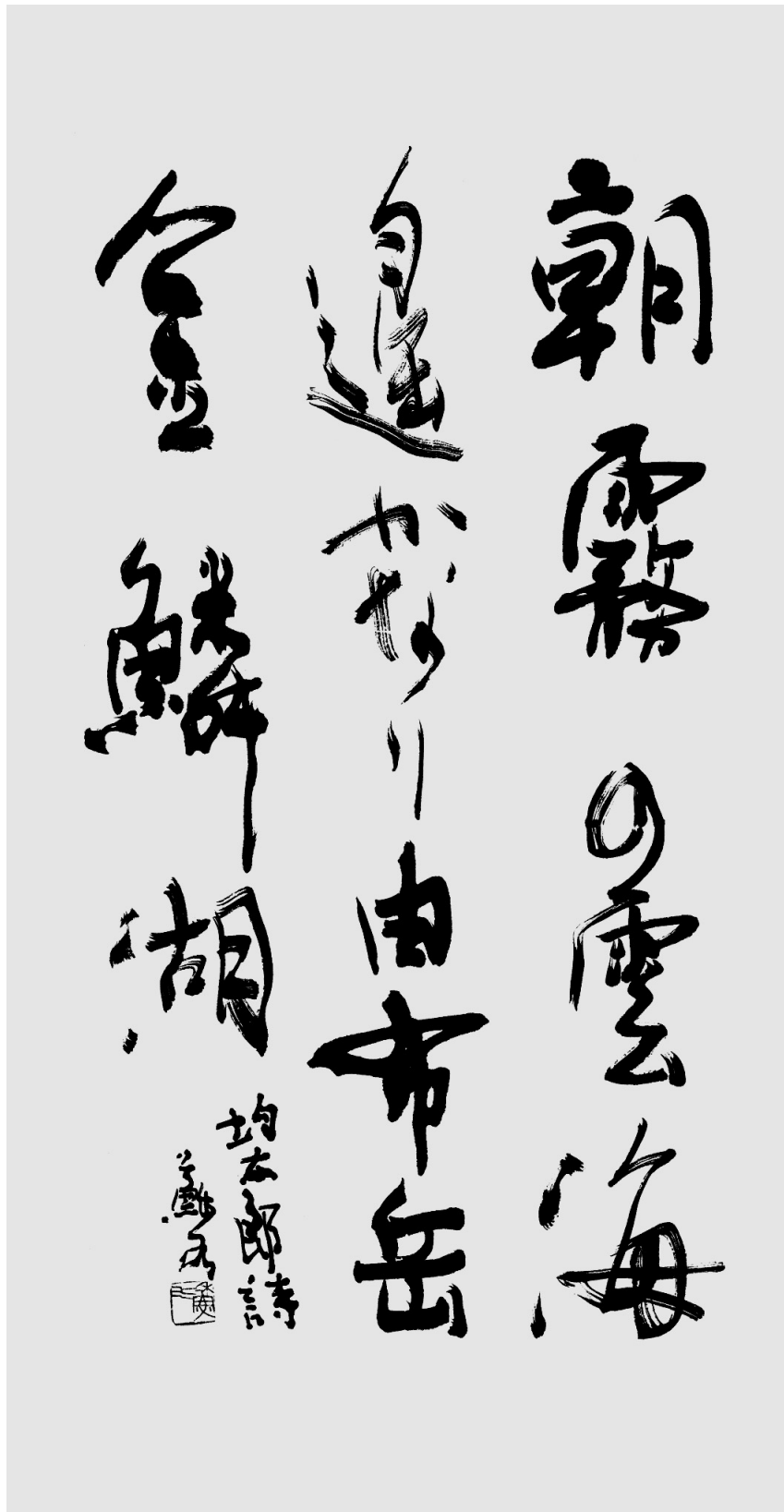
《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意参考手本（半折½縦のみ） — 9月末日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

□ 佐々木均太郎の詩 朝霧の雲海 遙かなり 由布岳 金鱗湖
大分川の源流“金鱗湖”。盆地になっているためか、美しい雲海が由布岳を背景に毎朝観れる。
潤渇、文字の大小、余白の疎密に注意して下さい。



廣瀬蘇水先生書

条幅随意参考手本（半折½縦のみ） — 9月末日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



□ 面壁^{めんぺき} かべに向かつて座禅すること。

禅宗の始祖「達磨大師」の面壁九年には恐れ入るが…。「面壁」には「気にかけないこと」「のんびりくらすこと」のたとえの意もある。

井之上 南 岳 先生 書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 黄葉前朝の寺 (唐・司空曙)
黄葉した木々の間に静かな佇まいを見せる古びた寺。



次号予告「宵長莫惜醉」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 黄葉前朝の寺 (唐・司空曙)

黄葉した木々の間に静かな佇まいを見せる古びた寺。



次号予告「宵長莫惜醉」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□望月方娥 月を望んで娥に方ぶ (宋〈六朝〉謝莊)
月を眺めて常娥と美しさを競う。「常娥」は不死の薬を持って月に逃げたという美女。



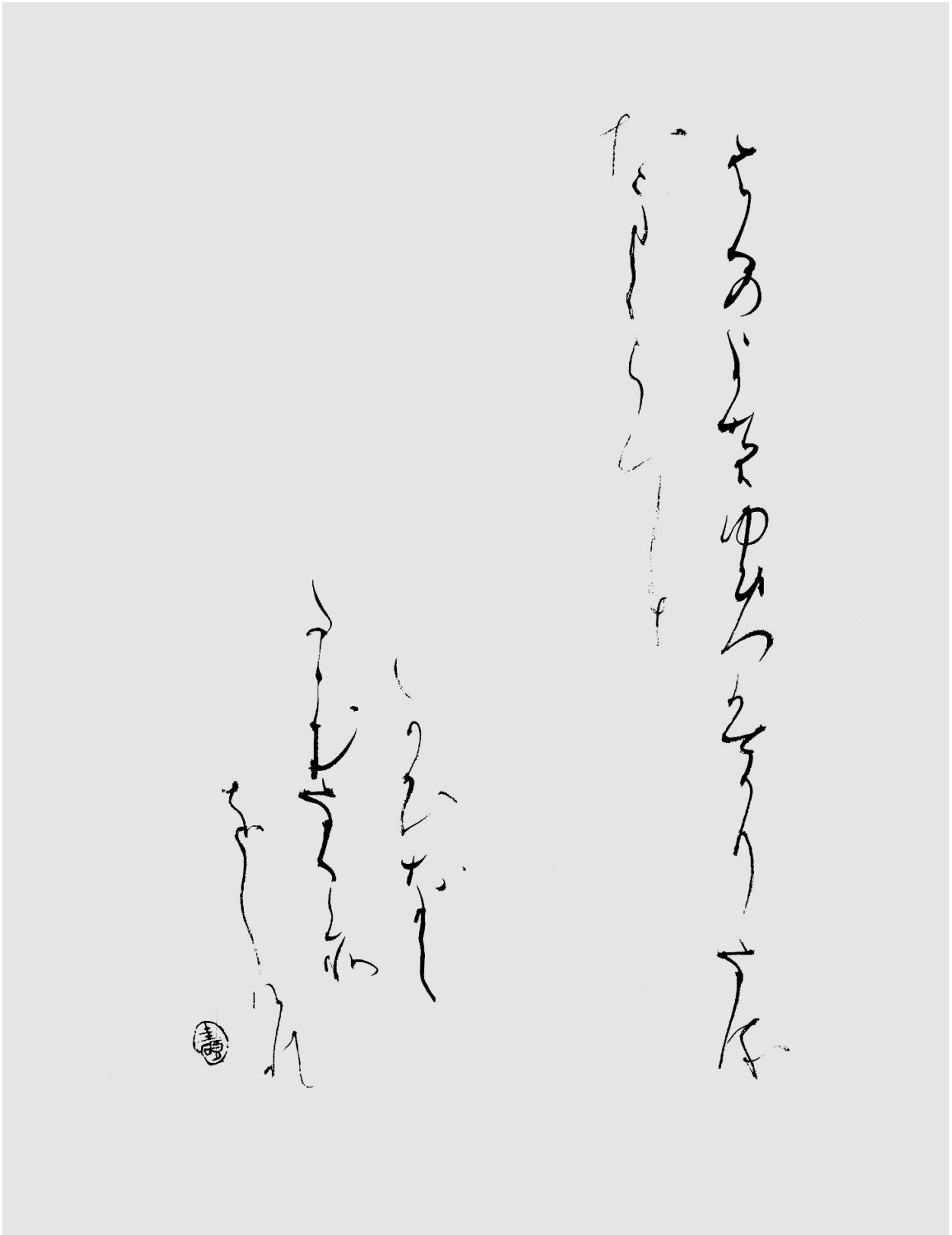
半紙随意参考手本 — 9月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

春の夜の ゆめはかりなる 手枕に かひなくたゝむ 名こそをしけれ

□ 者^はるのよ農^の ゆめ免^め盤^は可^かりな流^る た万^まくら耳^に 可^かひなく多^たゝむ なこ所^そをし介^けれ



舟尾圭碩先生書

半紙随意参考手本 — 9月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)

△詩文書▽

石田波郷の句 名月や 門の櫓も 武蔵ぶり



坂元紫香先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽

縦・横画の押えすぎに注意し、ハネも短かく文字の余白を生かして書こう。

搏風初矯

成美先生
吉田成美

「搏風初矯」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△実用書▽

社会 読書 音楽 教育 美術 学校 近代 旅行
 感覚 集団 問題 交通 安全 世界 国際 永遠

姓
号

安全	感覚	美術	社会
世界	集団	学校	読書
国際	問題	近代	音楽
永遠	交通	旅行	教育

秋永春霞先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

社会の高齢化に伴い展覧会にも
シルバー作家の出品が増えています
躍動する筆遣いと瑞々しい感性に
刺激を受けることも多く人生の目標
にもなっています
明日香

社会の高齢化に伴い 展覧会にもシルバー作家の出品が増えています 躍動する筆遣いと 瑞々しい感性に刺激を受けることも多く人生の目標にもなっています

大 坪 桂 子 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

澄んだ空に、月が美しく輝く頃となり
ました。今年の中秋の名月は休日とい
うことで、観月会を計画しました。
薄など、秋の七草の飾りは、田舎の友人
が準備してくれそうです。こちらは夕食
と月見団子を作りましょう。
是非、お子様も一緒にお越しくたさい。
お天気に恵まれ、心地よい時間となりま
すように。

野のある便箋に書いてみよう。

△ 26 cm × 18 cm ▽

紙質は自由。

- 平安時代の観^{かんげつ}月は、水面に映る月を愛で、詩歌^{しいか}を詠むという貴族の宴^{うたげ}だったそうです。慌ただしく過ぎる日々ですが、美しいものを感じる時間を増やし、心豊かに過ごしたいと思います。
※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵頭白慧先生書

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

はすの実

小学4年

光るにじ

小学3年

ゆうやけ

小学2年

ペンキ

ようねん・小学1年

空間芸術

中学2・3年

流星群

中学1年

秋風ふく

小学6年

よもぎ葉

小学5年

秋永春霞先生書

△条幅¼ 四尺画仙紙半折¼ : 68cm × 17・5cm ▽

□「ハライ」「ハネ」「トメ」のちがいに気をつけて、ていねいに書きましょう。

やゆ
けう

小学二年

次号予告「クレヨン」

□かき始めは、筆の先をきれいにそろえましょう。「ン」の二画目は、のびやかに。

ペン

ようねん・小学一年

次号予告「あき」

坂 元 紫 香 先 生 書

□平仮名の「結び」は軽く筆をうかせてゆつくりと進め、「実」は字形に注意しよう。

のは
実す

小学四年

次号予告「名月」

□画の接する位置と深さに気をつけ、「ハネ」「ハライ」「曲がり」に注意し、伸びやかに書こう。

光

小学三年

次号予告「つり糸」

吉 田 成 美 先 生 書

小学 五年

次号予告「道」

ぎよ
葉も

□「葉」の横画の長さに注意し、平仮名と漢字のバランスにも気をつけましょう。

小学 六年

次号予告「あけびの実」

秋
風

□二文字の中心に気をつけ、左右の“払い”や“ハネ”を伸び伸びと書きましょう。

秋 永 春 霞 先 生 書

中学 一年

次号予告「永遠」(行書)

流
星

□行書の点画の連続と方向や形の変化を理解し、楷書と行書の違いに気をつけて書こう。

中学二・三年

次号予告「山姿雄大」(行書)

芸
術

□筆順と点画の連続を意識し、行書の特徴を活かして伸びやかに書こう。

吉 田 成 美 先 生 書

小学二年

[illegible]

坂元紫香先生書

ようねん・小学一年

段 級	氏 名			
き	に	ト	よ	
つ	つ	に	う	
ね	こ		て	
の	り	つ	を	
こ	し	っ		
は	ま	こ	ポ	
	し	ん	ケ	
り	た。	で、	ッ	

坂元紫香先生書

小学四年

点字は、ルイブリブライユと
いう人が考え出したもの
です。日本では、五十音に
組みかえて使っています。

坂元紫香先生書

小学三年

グループに分かれ話し合 いの様子を見て上手 な話し合いの進め方に ついて考えましよう。					
段 級					
氏 名					

坂元紫香先生書

小学六年

小学五年

ハ 戸 局 局
ニ 仁 仁 化
一 ナ 在 在 在

段 級	氏 名
平和を実現し、それを保ち続ける のは、簡単なことではありません。 未来の社会がよりよいものであ るために、現在の社会に目を向け、 自分の考えをもちましよう。	

ハ 戸 局 局
ニ 仁 仁 化
一 ナ 在 在 在

段 級	氏 名
局地的な天気の変化も予想が むずかしいものです。日本は、四 方を海に囲まれていて、さまざ まな風がふきます。また、地形 の変化に富んでいます。	

小 畠 秋 聲 先 生 書

一 般 (A)

中 学

(この課題はA・Bいずれか一点のみとする)
※142%拡大で原寸大になります。

段 級	氏 名
料理界ではどんな大物でも、ミシュラ ンガイドを意識する。掲載されるだけ で一目置かれ、星の増減で客層や収益 が激変する。最高の三つ星となれば、 世界の美食家が巡礼の列をなす。	

ハ 戸 局 局
ニ 仁 仁 化
一 ナ 在 在 在

段 級	氏 名
ヤシの森に覆われていた時代には、 バナナやタロイモなどの食料も 豊富だった。しかし、森が消滅する とともに、豊かな表層土壌が雨に よって浸食され、流失してしまった。	

小 畠 秋 聲 先 生 書